

くまぐすサーチ



くまぐす先生

Vol.4

外来種について考えよう!

ここでは動画の中で紹介した生物や場所を一目でわかるようにしてあるぞ。
ぜひこの資料を活かして各地にある和歌山の自然を実際に見て感じてきてほしい!

1 「外来種」ってなんだろう

外来種とは、もともといなかった場所に人間によって持ち込まれた生き物のこと。なぜ持ち込まれたのか、その理由をここでは3つの例で紹介。もともといた生き物との間に起きる問題について学んでみよう。



2 「外来種」が引き起こす問題

実際に和歌山県でどんな問題が起きているか調べてみよう! まずは、釣りで人気のオオクチバス、そして黄色い綺麗な花を咲かせるキショウブが引き起こしている問題ってなんだろう?



3 遺伝的かく乱の問題

外来種が引き起こす問題として、「遺伝的かく乱」についてゲンジボタルを例に紹介するよ。外来種と在来種が交雑して生まれる雑種がどうなってしまうのか、その影響を考えてみよう。



ゲンジボタルくん
日本のキレイな小川の付近でしか見られないホタルの仲間。和歌山県では6月ごろに観察できるよ。

5 外来種の問題が起きないように私たちができること

田辺市の鳥ノ巣半島のため池では外来種のアフリカツメガエルが持ち込まれて増えてしまったよ。もといた生き物を守り、これ以上他の場所へ広がらないよう、地域の学生や住民が取り組んでいることを紹介するよ。



4 身近な場所にこそ目を向けてみよう

ここでは、ミドリガメとも呼ばれるミシシippアカミミガメや、アメリカザリガニが登場。時間を早送りできる「くまぐすワープ」で、長生きして大きく成長することを紹介するよ。家で飼うときは、最後まで世話ができるかどうか、よく考えることが大切だね。



くまぐす先生のおとことクイズ!

動画の中ではたくさんの生き物たちが紹介されているが、外来種による被害を予防するために、こういった事を守らなければいけないかわかるかな?動画をみて、下の〇〇や△△の部分を埋めてくれ!



- Q1 悪影響を及ぼすおそれのある外来種を自然分布域から非分布域へ「〇〇〇〇」
- Q2 飼養・栽培している外来種を適切に管理し、「△△△△」(逃がさない・放さないことも含む)
- Q3 既に野外にいる外来種を他地域に「□□□□」(増やさないことを含む)

答えはうらページ一番下にあるぞ!

外来種被害予防3原則





『外来種』ってなんだろう？



夜行性で木登りや泳ぎも得意な**アライグマ**は、魚や昆虫、野菜などいろいろなものを食べる雑食動物じゃ。そのため、野生化した個体は田畑だけでなく、その地域に生息する在来種にも影響を及ぼすんじやよ。



水田などでよく見かける**スキミリンゴガイ**は、ピンク色の卵を産卵することが特ちょう的じゃな。えらとともに、肺に似た器官をもっており、乾燥にも強いんじや。



赤い前胸が特ちょう的な**クビアカツヤカミキリ**は、サクラやウメなどの木に穴をあけて寄生する昆虫じゃ。穴から大量のフラス(木くずとフンが混じったもの)を見かけたら、幼虫がその木にくらしている証じゃ。

『外来種』が引き起こす問題



提供：中嶋佳貴(岡山大学農学部)

黄色い花を咲かせる**キシウブ**は、河川や日当たりのよい湿地帯などで見かけることができるぞ。繁しよく力も強いため、一度生えてしまうと一気に広がってしまうおそれがあるんじや。



大きな下あごが前に突き出ている特ちょうを持つ**オオクチバス**は、体長が30cmから50cmになる個体もいるんじや。肉食で他の魚だけでなく、エビやザリガニなどの甲殻類や水に落ちてしまった鳥のヒナまで食べてしまうこともあるそうじゃ。

遺伝的かく乱の問題(ゲンジボタル)



提供：古河義仁(東京ゲンジボタル研究所)

前胸の中央に黒い十字模様の特ちょう的な**ゲンジボタル**は、きれいな小川や水路などに生息している。最近の研究では、フォッサマグナを中心に、西日本と東日本のゲンジボタルの発光パターンが違うことがわかったんじや！

フォッサマグナについては、ぜひ自分で調べてみてね！



ゲンジボタルくん

『外来種』とどう付き合っていくか



別名ミドリガメとも呼ばれる**ミシシippアカミミガメ**は、日光浴が大好きなんじや。雑食で、水草やエビ、ザリガニ、魚のほか、他のカメ類の卵を食べてしまうこともあるんじやよ。



田んぼや用水路、池などの浅い水辺に生息している**アメリカザリガニ**。水草や水生昆虫などいろいろなものを食べてしまうため、環境やそこにくらす生き物たちへ大きな影響を与えているんじや。

『外来種』の問題が起きないように私たちができること



湖や沼、池などの流れがない環境に生息する**アフリカツメガエル**は、まぶたと舌がないカエルじゃ。変態後はヤゴやゲンゴロウなどの水生昆虫などを食べるため、生物環境のバランスを崩してしまう可能性があるんじや。



トンボの幼虫である**ヤゴ**は水中に生息する肉食の動物じゃ。成虫になるトンボの種類によってヤゴの体の形も違うため、よくよく観察することが大切じゃ。



体長約1cmの**ハイロゲンゴロウ**は、水たまりや池でみかけることができるぞ。灰色の透き通った翅(はね)が特ちょうで、突然どこかへ飛んで行ってしまうこともあるんじや。